

補正予算特別委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 開催日	平成30年2月16日(金)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	栗山泰三座長、隅田雅春副座長、河南克典委員、木戸貞一委員、安井博幸委員、奥土居帥心委員
4. 会議に付した事件	議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第12号)
5. 議事の経過	<p>9:30 開会</p> <p>栗山座長 開議宣告</p> <p>■政策部</p> <p>日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第12号)</p> <p>行政経営課・創造都市課</p> <p>【主な説明】</p> <p>補正予算書に基づき説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>安井委員 企業誘致促進費について、犬飼・初田地区の農工団地予定地に行っても、予定地がどこからどこまでかわからない。誰が見ても分かるように看板等を設置すべきではないか。</p> <p>政策部 看板の設置については、地元からの要望もあり検討していく。</p> <p>木戸委員 平成29年度中の企業誘致の現状について、説明願う。</p> <p>政策部 空き工場に2企業が入るなど企業の活動は活発に感じる。企業誘致のチャンスである一方で雇用が難しい状況がある。来年度においては、市内の雇用確保に力を入れながら、犬飼・初田地区への企業誘致を進めていきたいと考える。また、国の企業誘致施策が変わり、ものづくりだけでなく、地域の活力を生かせる産業へと誘致がシフトしており、今後はそういったことにも取り組みたいと考えている。</p>

奥土居委員	企業を誘致することで、結果的に従業員の取り合いになり、篠山市を支えてきた中小企業の負担になるのであれば、企業誘致は控えるべきという考えはないか。
政策部	短期的な視点と今後の篠山がどういう方向にあるのかを踏まえながら、バランスを取って検討していきたいと考える。
河南委員	用地単価を決めることは難しい。開発基金の1.4億円を使って、市が土地を一旦確保するという方法もあるのではないか。
政策部	現状は農地のため、水路もある。その際の造成費用負担の話もある。企業が積極的に動くようになった段階で開発基金の活用を考えたい。
河南委員	川代トンネル工事の残土を使えば、県から処分料をもらうこともできる。有効活用を図ってほしい。
隅田副座長	公共施設整備基金費に関し、ハートピア北条団地の土地売払い収入の販売見込みによる減額について、1区画を売却するたびに台帳上の土地の販売価格が減額になるということか。
政策部	担当課は地域計画課であるが、今回の補正で5区画中、4区画分を減額するものである。販売価格が下がったということではなく、売却を予定していたが販売されなかったということである。
河南委員	住吉台にも同様の土地があり、予算計上されていないが、ハートピア北条団地の販売見込みによる減額は計上しなければならないのか。さらに販売促進に努めてほしい。
政策部	もともと、造成して販売する目的であったため、計上している。販売促進も含め、いただいたご意見を担当課と共有させていただきたい。
河南委員	丹南地区内にあった広告看板もなくなっており、PRの仕方が少し弱くなっていると感じる。今後もう少しPRの仕方を考えてほしい。
隅田副座長	ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業について、寄付受納した魚屋町の空き家は非常に良い物件である。この市への寄付による持ち主の有利さはあるのか。
政策部	以前から、「自分が、万が一の時には寄付したい」とおっしゃっておられた。税金対策ではなく真に市の為に使っていただきたいとの意向である。
木戸委員	空き家の寄付について、改修には事業者登録した業者が工事にかかると思うが、篠山市空き家等対策協議会委員も入札できる立場にあるのか。
政策部	寄付物件についての登記、設計、工事については登録制度をとっている。委員も登録が可能であり、入札についても参加可能としている。

木戸委員	空き家等対策協議会委員の入札への参加等については、問題になることも考えられることから、配慮も必要ではないか。
隅田副座長 政策部	空き家の寄付受納について、寄付に関する啓発は行っているのか。固定資産税の納税通知書送付に合わせて周知している。この4月にもしっかりと周知をしていきたいと考えている。
安井委員 政策部	昨年末に寄付のあった1億円がどこの科目に含まれているのか。1億円は総務費寄附金、ふるさと応援団寄附金に含まれている。
木戸委員	丹波篠山ふるさと応援団事業について、ふるさと納税にかかる返礼品の辞退はどれくらいあるのか。また、どのような場合に返戻を辞退されるか。
政策部	高額な寄付の場合は辞退される。また、市内の方からの寄付に対しては返礼品を贈らないようにとの技術的助言が総務省からあったことから、今回、記念品を減額する。
木戸委員	丹波篠山ふるさと応援寄付の1億円には、「丹波篠山市への市名変更に使ってください」というコメントが付けられていたが、この寄付金をどのようなことに使用するのか。また、寄付者の意向と異なったことに使用する場合、手続等が必要となるのか。
政策部	ふるさと納税の使い道については、①豊かな自然環境の保全に関する事業、②農業の都としての農業振興に関する事業、③伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業、④日本遺産のまちの魅力発信に関する事業の4項目から選んでいただいております。その他市長が使い道を決定させていただく事業がある。寄付金は基金に積み立てをして執行するため、市に裁量権がある。また、目的については、寄付者と面談し、意向を伺っている。意向は尊重するが、即決定されるということはない。
木戸委員 政策部	今回の1億円の寄附金の使い道は、どの項目に当てはまるのか。今回は、その他市長が使い道を決定させていただく事業という扱いになる。メッセージをいただいているが、市名変更に至らない場合は、寄付者と相談し、使い道を変更する。
木戸委員 政策部	寄付者と相談しないと使えないのか。基本的には市に裁量権がある。
木戸委員 政策部	寄付者は他の用途に使っても良いと思っているのか。詳細は確認していない。
木戸委員	市名変更が実現しない場合、塩漬けになるという可能性はあるのか。市に裁量権があるにもかかわらず、相談するということが理解できな

	い。
政策部	あくまで寄付いただいたお金であり、執行に関しては市に裁量権がある。市で執行するため、塩漬けになるということはない。
木戸委員	使い道を寄付者と相談し、市として決めるのか。
政策部	相談して使途を決める。
安井委員	1億円は市名変更を目的とした寄付金である。例えば、住民投票をした場合、2,400万円程度かかると聞いているが、その財源に充てることには問題がないと考えるがどうか。
政策部	具体的に1億円を使うことになれば、歳出予算に計上し基金を充てることになるが、その議論には至っていない。
奥土居委員	担当課ではなく、直接市長に寄付の相談があったのか。
政策部	直接、市長に相談があった。
奥土居委員	まだ決まっていない市名変更に関しての寄付を受けたことになるが、寄付を受けないという選択肢はなかったのか。
政策部	寄付の申し出があり、メッセージが付いた応援寄付としていただいたということである。
奥土居委員	寄付金の使途を変更する場合、なぜ、寄付者に相談する必要があるのか。「そのような目的で使われたら困ります。」と言われればどうするのか。寄付者の意向を聞いて、その使途を決めるということではないと考えるがどうか。
政策部	市に寄付いただき、受納したお金として適切に対応していきたい。
奥土居委員	わが家わが村の住もう帰ろう運動推進補助金について、減額理由は何か。計画段階で予知できなかったのか。
政策部	総合戦略に沿って進めているが、計画が十分できていなかったことは反省している。効果的に進めるためにも学習会を先行して実施するという事で軌道修正をさせていただいた。
奥土居委員	原因は人材か、あるいは知識不足か。
政策部	450人の全職員が住民学習に参加することとしていたため、人材不足ということはいえない。啓発DVDの作成に時間がかかったことが減額理由の一つの要因である。
奥土居委員	わが家わが村の住もう帰ろう運動は、目玉事業の一つである。できるだけ減額せず事業実施をお願いします。創造都市課では、業務量が多く、人員も不足していると感じている。人員配置について、市長にも伝えていただき、検討していただきたい。
政策部	ご意見については市長にも伝えたい。

栗山座長 わが家わが村の住もう帰ろう運動啓発DVDについて、相応しい内容ではないと地域から聞いている。改良の余地はあるのか。

政策部 DVDは、篠山市の良いところを知っていただくこと、またPRも兼ねている。DVDの作成は初めての試みでもあり、馴染みやすい内容にした。今後新たなDVDを作成する予定はないが、それを活用しながら、学習会や補助事業を進めていく中での確に伝えていきたい。

■総務部

日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第12号)

総務課・管財契約課・税務課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 職員人件費について、退職手当組合特別負担金の増額理由について説明願う。

総務部 特に早期退職者については、退職金の割り増し分を特別負担金として負担することになるが、負担金が当初には算定できず、退職者が確定した現段階で負担金額が確定したことによる増額である。

安井委員 早期退職者は何名か

総務部 3名である。当初予算では想定していない。

奥土居委員 早期退職者3名の退職理由は何か。また、分限休職者の状況について説明願う。

総務部 早期退職の理由は、親の介護等、家庭の都合と聞いている。また、病気休暇による分限休職者が3名おり、内1名が長期になっている。長期休職となっている職員については医師と面談をしたが、早期の復職は難しいと聞いている。

奥土居委員 パワハラ等、職場環境に問題はなかったのか。

総務部 パワハラというよりは、職員同士の人間関係の問題であると考えている。

木戸委員 職員数と業務量のバランスについて、担当課としてどのように考えているのか。

総務部 職員数450名体制は高度な目標であるが、特に子育て支援については、これにこだわらず増員している。平成30年度も別枠として4

	<p>名採用する予定である。事務職については、主要施策が実行できるよう、人員配置を行っており、新年度に向けた人事異動にも配慮していく。職員にはワークライフバランスの観点から、時間外勤務の抑制を呼びかけるとともに、スクラップアンドビルドも進めている。今後も無理のない配置に努めていきたい。</p>
木戸委員	<p>近年は、ビルドビルドビルドになっているのではないかと。時間外に市役所に来ても職員が残業しているのをよく見かける。事務事業評価は行っているのか。</p>
総務部	<p>行政経営課が担当となるが、事務事業評価は行っている。</p>
木戸委員	<p>自衛隊員募集事務費市町交付金に関し、自衛隊員の募集状況と募集方法について説明願う。</p>
総務部	<p>広報紙への自衛隊員募集記事の掲載に対し、交付金を受けているものであって、直接募集業務は行っていないため、応募状況などの詳細は把握していない。</p>
木戸委員	<p>自衛隊への応募は年々厳しい状況であると聞いている。市としての支援も考えてほしい。</p>
隅田副座長	<p>コミュニティセンター管理費に関し、玉水会館エレベーター設置工事について、篠山営農経済支店の基礎の影響で追加の工事が必要となり、工期も2ヶ月程度遅れているようであるが、工事費確定見込で978万7千円の減額となっている。工事費の予算額は5,000万円程度であったと認識しているが、入札金額や追加工事費について、説明願う。</p>
総務部	<p>予算は、約4,800万円で、エレベーターの機器の設置費用はメーカー間の競争が激しいこともあり、予定価格約3,400万円で入札執行し、約3,350万円で落札された。その後、追加の工事を500万円程度見込んでおり、今回、当該工事にかかる不用額約980万円を補正予算で減額したいと考えている。</p>
安井委員	<p>職員研修費について、研修負担金の減額理由は何か。職員が地域に入って学習会を進行する機会が多くなっている状況の中、職員にはファシリテーション能力の向上を望みたいと考えている。</p>
総務部	<p>主として、減額の理由は、丹波の森大学や全国規模の研修所の受講生が予定より少なかったことによるものである。</p>
安井委員	<p>職員の資質の向上のため、特にファシリテーション能力の向上を強く希望する。</p>

■選挙管理委員会

日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第12号)

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田副座長 県知事選挙費について、時間外勤務手当の減額補正は、開票事務がスムーズに行えたことが理由か。

選挙管理委員会 県知事選前に検討等を加えた。想定より少ない人数で開票事務が行えたことが減額の一つの要因である。

隅田副座長 衆議院議員総選挙費について、投開票当日は、台風の影響を受けたが、投票箱は正規のルートで開票所まで送致できたのか。また、今回の台風で得られた教訓はあるのか。

選挙管理委員会 台風の影響により、国道176号線で倒木があり、特に今田方面からの通行ができなかったことから、通常ルートとは異なる黒石経由での送致となった。投票管理者等の尽力もあり、無事に開票所まで投票箱を送致いただいた。今回の台風の影響は想定外のことであったが、そういったことにも対応できるよう準備等において、反省すべきところはあった。県選挙管理委員会においても今後、検討会で協議する予定であり、これを教訓として、しっかり考えていきたい。

隅田副座長 20時までの投票時間を繰り上げるなどの検討は行ったのか。

選挙管理委員会 そのような検討は行わなかった。

木戸委員 今後の投票所の統廃合などの見直しや選挙事務における課題等はあるのか。

選挙管理委員会 投票事務については、今までの考え方で進めていきたいと考えるが、今回の台風のような想定外への対応については検討を進めている。

木戸委員 具体的にどのような検討を行っているのか。

選挙管理委員会 大雨や暴風時の投票箱の送致の際にそれを覆う袋の準備や開票所での非常用電源の確保等について、検討を進めている。

■教育委員会

日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第12号)

篠山東部学校給食センター・篠山西部学校給食センター・中央図書館・

たんば田園交響ホール

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田副座長 学校給食調理費について、インフルエンザによる学級閉鎖の影響で、前年もしくは例年に比べて、今年の配食数に出ている影響は集計されているか。

教育委員会 インフルエンザによる学級閉鎖のための給食停止数について、東部学校給食センターにおいては、平成28年度が663食、本年度が現時点で1,637食となっており、昨年度に比べると2.47倍となっている。

西部学校給食センターにおいては、平成28年度が497食、本年度が現時点で1,601食となっており、昨年度に比べると3.22倍となっている。

隅田副座長 篠山東部学校給食センター管理費について、給食配送車の更新に伴い、廃車を予定していた車両が買い取りとなったとの説明であったが、その経緯について説明願う。

教育委員会 更新対象車両については、東部学校給食センターにある平成11年の初年度登録車両3台のうち1台で、18年を経過していることから老朽化も進み、給食の配送に支障をきたす恐れがあるため、順次更新していく計画としている。その対象車両を処分するにあたり、3社から見積を徴収したところ、1社は廃車手数料が必要、2社は買い取りという結果であったことから、買い取り額の高い業者に処分いただいた。

安井委員 図書館管理運営費に関し、電気代の増額について、冷温水器の性能の低下と電力会社が変わったことにより深夜電力が安くならなかった旨の説明があったが、今回の増額はどちらの影響が大きいのか。

教育委員会 12月末時点で、冷温水器の性能低下では前年度比3,000kw増で、12月から3月までの4か月分で24万円の増額、深夜電力分では43万円の増額である。

安井委員 深夜電力が43万円増額となったのは、電力会社を変更したことが影響しているのか。

教育委員会 電力会社の変更により基本単価は安くなったが、前年度との差は深

夜電力が安くならなかったためである。

安井委員

電力会社の変更は、図書館においては効果がなかったと理解してよいか。

教育委員会

電気代は前年度比92%となっており、効果はあったと考える。

奥土居委員

電力会社が変わったことによるメリットはどうなったのか。

教育委員会

当初予算の電気代は管財契約課が試算しており、電力会社が変わることで前年度より低い金額で見積っていた。実際の電気代については、電力会社を変更したことにより前年度比8%安くなっている。当初予算の計上が少なかったということである

教育総務課・学事課・学校教育課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

木戸委員

旧学校施設管理費に関し、複合教育施設の電話料の増額について、まちづくり協議会や西宮の共同幼稚園の活動が活発になったことが理由ということであるが、地域活動等でも電話を使っているのか。施設管理の範囲内で使われるものなのか。

教育委員会

旧学校施設管理費の中で、電話料は管理委託料とは別に計上して市が負担し、その電話も活用しながら跡地活用を進めている。

隅田副座長

学校教育総務費に関し、自転車保険加入補助金の減額について、加入者減を危惧するが、どのような啓発活動を行っているのか。また、ここ最近で通学時の自転車と車との接触事故は発生しているのか。

教育委員会

補助金の交付率の見込みは減少しているが、それが保険加入者の減少ではないと認識している。この補助金は1世帯あたり一律1,000円を申請に基づき補助するものであり、保険へ加入はしているものの補助金の交付申請をされていないケースもあると思われる。そうした中、啓発については、年度当初の学校長会での周知やパンフレットの配付、ポスターやのぼり等の掲示による啓発活動を実施しているとともに、各学校においても保護者が集まる機会に保険加入の啓発活動を行っている。また、今年度は年2回の交付申請受付期間の延長を行った。次年度においも、引き続き、学校現場とともに積極的な啓発に努めていきたい。

	<p>なお、車との接触事故については、手元に資料は持ち合わせていないが、なかったと記憶している。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>自転車保険加入補助金について、保険が支払われた実績はあるのか。当該補助金は保険加入に係る経費の一部を補助するものであり、保険使用の実績の報告を求めているため、把握していない。</p>
隅田副座長 教育委員会	<p>教育委員会及び学校における登下校時の交通安全教育に係る取組内容について、説明願う。</p> <p>教育委員会では、学校の安全安心づくりの研究を進める研究校を1校（古市小学校）指定し、登下校を含めた学校安全についての研究を行っている。その取り組みは、学校安全研修会での発表等を通じて、各校に発信している。また、各学校においては、交通安全教室等を開催するなどし、登下校時におけるルールやマナー等の指導を行っている。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>小学校・中学校教育振興費に関し、教育用PCの更新について、導入したタブレットPCのメリットをどのように考えているのか。</p> <p>平成30年度から移行期間が始まる新学習指導要領において、アクティブ・ラーニングという手法を使った理解を深めていく授業展開や主体的、対話的で深い学びの重要性が示される中、その推進ツールの一つとして導入したものである。タッチパネル等の機能により、感覚的な分かりやすい授業が行えるとともに、屋外での観察や情報収集にも活用できることがメリットとして挙げられる。なお、机上で使用する際は、キーボードによる入力作業も可能であり、デスクトップとしても活用できる。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>タブレットPCの画面サイズはどの程度か。</p> <p>11.6型である。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>デスクトップPCからタブレットPCに変わる中、学校現場においては、特に問題なく活用できているのか。</p> <p>うまく活用できている。</p>
木戸委員 教育委員会	<p>体験教育推進事業補助金に関し、自然学校推進事業交付金の減額は、1クラス減ったためとの説明であったが、どの学校が減ったのか。</p> <p>城南小学校5年生を2クラスで見込んでいたが、39人となり、1クラスになったためである。</p>

社会教育課・文化財課・こども未来課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 文化財保護費について、青山歴史村の駐車場板塀及び長屋門の屋根の台風被害への対応はどのようになっているのか。

教育委員会 駐車場板塀については、市単費で修繕を行った。また、長屋門の屋根については、本年度予算の景観まちづくり刷新モデル事業において現在工事を実施している。

木戸委員 城東保育園費に関し、教育、保育備品の購入について、城東保育園の園児は、たきこども園ができると半減するが、購入しようとする備品が余った場合、たきこども園で使用することになるのか。

教育委員会 来年度に向けて最低限必要な備品を購入させていただきたい。城東保育園とたきこども園の園児数をみながら、城東保育園で備品が余るようであれば、たきこども園にまわすことも検討したい。

木戸委員 たきこども園が開園すれば、城東保育園は園児数が減少し、間違いなく備品が余るので、今のうちからしっかり考えていただきたい。また、城東保育園の遊戯室は、夏場の行事で保護者等がたくさん入ると、暑くて汗だくになる。冬は冬で寒い。雨漏りで保育室が使えなかったときには、遊戯室で午睡をしたこともあるので、遊戯室にエアコンの設置などの環境整備を検討いただきたい。

教育委員会 来年度予算に計上し、そのように対応する予定である。

栗山座長 幼稚園管理費について、大山幼稚園の園児数増により備品を購入するとの説明であるが、園児数増の要因は何か。

教育委員会 大山地区については、近年、地域の4・5歳児の人数が増えてきている。今年度の大山幼稚園児は29名であり、来年度は32名となり、3名増となる。ただ、住民基本台帳人口をみると、来年度がピークで、その後徐々に減っていく傾向がみられる。

■議会事務局

日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

- 木戸委員 政務活動費補助金について、減額理由は何か。
- 議会事務局 議長分の政務活動費補助金であり、交付申請がなかったことから減額するものである。
- 隅田副座長 先日、袋井市が行政視察に来られたが、袋井市では議長が会派に属しているが、それぞれの議会により異なるのか。
- 議会事務局 それぞれの議会で異なっている。本市では議長は会派を離脱するという事としている。

■議員協議

- 栗山座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— なし —

— 市長等への質問等なし —

■意向確認

議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）

— 全員賛成の意向 —

- 栗山座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調整させ、座長、副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

15:05 閉会